

令和6年9月22日（日曜日）

復興と平和願い奉納揮毫

盛岡二高書道部

盛岡二高書道部（川村千紗部長）は21日、盛岡市八幡町の岩手護国神社で、能登半島地震で被災し、同日も豪雨被害があった石川県の復興と世界平和を願う揮毫を奉納した。

1、2年生8人が参加。縦1・6呎、横3・2呎の紙と向き合い、平穏な世を意味する「地平天成」の字と、笑顔や平和が広がる未来を希求する五つのメッセージをしたためた。

川村部長は「戦争や災害で苦しむ人たちが明るい気持ちになれるよう思いを込めた。能登の皆さんにも届いてほしい」と祈った。書は同神社内に掲示する。

奉納揮毫は平和活動を展開する名古屋市の任意団体・和プロジェクトTAISHI（宮本辰彦代表）主催の「9・21世界平和の祈り」の一環。国連が定める同日の国際平和デーに合わせ、全国で実施した。



能登半島地震の復興と世界平和を願い、筆を走らせる書道部員。21日、盛岡市八幡町・岩手護国神社

（岩手日報）

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。